



「他人事ではない認知症」

2023年9月現在の高齢者人口は3,623万人。高齢者人口率は29.1%となり過去最高の高齢化率を示しました。また100歳以上の高齢者の数は18年前の2005年では25,554人でしたが、2023年では3.6倍の92,139人と高齢者のさらなる高年齢化が進むことで、加齢が最大因子である認知症が進み、2025年には全国で約700万人の方が認知症を有すると予測されています。

現在65歳以上の高齢者の20%、つまり5人に1人の方が認知症になるのではないかとされています。令和5年11月時点の本市で例えると、65歳以上の人口12,234人に対し、その20%の2,446人が認知症になると推測されます。

超高齢化社会で加齢とともに切り離すことが出来ない認知症。認知症の最大の原因は加齢であり、誰にでも起こりうる他人事ではない身近なものなのです。

認知症対策は、まず「認知症について知ってもらう」という市民への啓発が重要ではないかと考えられます。超高齢者社会では、高齢者のいることが当たり前の社会になり、政策レベルでは社会保障の見直しも進んでいくことが考えられます。「認知症になっても大丈夫なまち」にするためには、今後さらなる地域の力や関係性を引き出す仕掛けづくりや働き掛けが必要と考え、今回の一般質問で行政の対応を問い質しました。

逃げない・ぶれない・わかりやすい議会活動 春田ともあき  
《Facebook やっています 春田智明→検索》

春田ともあきブログ  
ランニングマン春がゆく



■最後までお読み頂き感謝申し上げます。

那珂川市議会議員

は る た

春田ともあき

あなたの声を!  
あなたの思いを!  
市政に届けます!



春田ともあき事務所

福岡県那珂川市中原6-13-21-505

TEL/FAX:092-952-1431

E-mail:haruta@ari.bbiq.jp

http://haru3.net

ご意見、ご感想などございましたらご連絡下さい。